東京学芸大学リポジトリ
Tokyo Gakugei University Repository

2023年度 東京学芸大学附属高校 研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東京学芸大学附属高等学校 公開日: 2024-04-23 キーワード (Ja): STYP: 高等学校 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/0002000358

東京学芸大学附属高等学校紀要　61　pp. 1 ～ 6，2023

2023 年度　東京学芸大学附属高校
研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧

List of academic researches and activities of the school（2023）

1．第22回　公開教育研究大会

日時：令和 5 年 11 月 25 日（土）

研究主題：

生徒Agency を育むカリキュラム・マネジメント(1)

～探究活動を軸としたカリキュラムづくり ～

後援　東京都教育委員会

公開授業

国語科　言語文化　佐藤希世子

古典と近現代の作品を比較し自分の考えを深める

『伊勢物語』「梓弓」，『大和物語』「蘆刈」と近現代の作品を比較し，「永遠の愛」について考察する。公開授業では『伊勢物語』「梓弓」の描かれている時代背景や時間の経過を理解しながら読解する。

国語科　文学国語　日渡正行

夏目漱石『こころ』分析のキーワードを考える

今年度の「文学国語」では，「小説」と「評論」を合わせて一つの単元とし，両者を積極的に結びつけている。夏目漱石『こころ』と若林幹夫「漱石のリアル」を読み，『こころ』を分析するキーワードを探る。

地歴公民科　地理総合　松本至巨

地形から災害の可能性を考える

授業で学習した地形について，地形図で読み取ったり，過去の地図等と比較するなどして，身近な地域の特徴を知り，災害の可能性を考える基礎的な力を身につけさせたい。

数学科　数学Ｂ　大谷　晋

統計的な推測を通して育む生徒 Agency

災害に備えて，本校生徒約 1000 名分の食料の備蓄量について考える。生徒の一部にアンケートをとって消費量（食べる量）を調べて，備蓄量を算定する。

理科　物理基礎　西村塁太

音速測定の実験デザイン

物理基礎では単元の終わりの授業で，それまでに学習した知識・技能を活用し，生徒自ら実験デザインする探究活動を行っている。公開研究会では音速測定の実験及び成果物としてのポスター作成の授業を公開する。

理科　化学基礎　成川和久

化学電池を評価する

“素晴らしい”化学電池の“素晴らしい”を班員で話し合って，化学電池の具体的な評価内容と評価基準を検討してルーブリックを作成する。化学電池を実験でつくり，作成した電池を自分たちが考えたルーブリックで実際に評価をする。

保健体育科　保健　中田雅皓

性感染症はなぜ蔓延するのか

性感染症の広がりについて，教室内で誰もが安全に行うことのできる実験・体験を行う。その結果から，近年の性感染症の蔓延について思考を促し，理論と実社会（企業・世界での取り組み）を繋げて考察，共有させ，思考・行動変容に繋げていきたい。

芸術科（音楽）　音楽Ⅰ　居城勝彦

太平洋地域の音楽に親しもう

ハワイアン音楽のウクレレ弾き歌いの経験からその音楽文化の成立背景を調べ，人々の営みと合わせて省察する。そこで思考したことを自らの音楽表現の中に活かそうとする活動に取り組む。

芸術科（工芸）　工芸Ⅰ　神田春菜

人々の生活を心豊かに演出する～キャンドルスタンドの制作～

社会的な視点に立って，キャンドルスタンドを陶土で表現したり，鑑賞したりする題材である。本授業では，油粘土で制作した試作品を社会的な視点から客観的に分析し，より条件に合った作品へと改善していく活動に取り組む。

芸術科（書道）　書道Ⅰ　荒井一浩

臨書から倣書，創作へ

宋の四大家の一人，米芾の「蜀素帖」を教材に臨書，集字による倣書，さらに意図を持って自分らしい作品に昇華する過程を学ぶ。本授業では，集字をどう変えたいのか，そのためには何をすべきかを考え実践していく。

外国語科(英語)　英語コミュニケーションⅠ　加藤　淳
主体的な学びを促す授業実践の考察
　語学の習得には，受け身ではなく自ら目標を設定し，行動を起こし，振り返り，次の行動を計画するという主体性が不可欠である。本授業を基に，日々の授業で生徒の主体性を有効に引き出す指導について考察を深めたい。

外国語科(英語)　英語コミュニケーションⅡ　豊嶋　維
インタラクションを通した内容理解 ールーティンと即興性ー
　All in English の授業の中で思考を促すために，ルーティン化した活動の中で初見・初聴の質問を投げかける。その質問について生徒間及び生徒・教師間のやりとりの中で思考し，本文理解を進めていく。

家庭科　家庭基礎　桒原智美
金融教育と家庭科「対象を意識した『金融教育』の授業を考える」
　「金融リテラシーを高める」視点から①金融庁副教材 PP で学習，②「FIRE」を素材として投資専門家の授業を受け，③自分ごととして「金融教育の授業を生徒自身で考え」プレゼンする，流れの中での③の部分を授業公開する。

研究協議会

国語科
生徒が自分ごととして取り組むための学習指導の工夫
～文学作品を学習材として～
助言講師　石井正己　東京学芸大学 名誉教授

地理歴史科・公民科　　松本至巨
生活に活かせる地理の授業をつくる
助言講師　三橋浩志　文部科学省初等中等教育局
教科書調査官　社会科（地理）

数学科
生徒 Agency を育む単元計画　ー深い学びの実現に向けてー
助言講師　小岩大　東京学芸大学 自然科学系 数学科教育学分野　准教授

理科
生徒による実験デザインと評価活動を通して Agency を育む
助言講師　今井泉　東邦大学 理学部教養科 教授

保健体育科
生徒の必要感を掻き立て，実生活に落とし込むための働きかけ・授業実践
助言講師　山本浩二　文教大学 教育学部 教授

芸術科（音楽）　居城勝彦
音楽の活動を通して地球市民を育てるために必要な視点とは何かを考える
助言講師　中山京子　帝京大学教育学部初等教育学科教授

芸術科（工芸）　神田春菜
生徒 Agency 育成の観点から美術，工芸の教育に求められる学びを捉え直す
助言講師　横田学　京都市立芸術大学 名誉教授

芸術科（書道）　荒井一浩
生徒 Agency の育成と書道教育
助言講師　角田健一　大東文化大学 文学部書道学科准教授

外国語科（英語）　光田怜太郎
生徒の発話を引き出す授業実践
助言講師　金谷憲　東京学芸大学教育学部名誉教授

家庭科　桒原智美
教育現場の「金融教育」どのように実施していきますか？―教育現場，投資専門家それぞれの立場から困りごとを探っていきましょう！―
助言講師　中村香織　東京都スタートアップ・国際金融都市戦略室戦略推進部
宇根尚秀　元ゆうちょ銀行常務執行役員，インベストメント Lab 代表

講演会

OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来
講師　白井　俊　内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官

SSH 事業報告会

SSH 事業の総括，探究活動（SSH 探究），海外交流，SSH 特別授業の実践を報告

2．授業実践研究会

第 10 回授業実践研究会「1to1・教育工学」
学校での課題を改善させる 1to1 ～ 1to1 実施 3 年目の総括とこれから～

日時：令和 5 年 6 月 14 日（水）
実践発表：
1to1 で試行錯誤　授業の DX
　数学科・木部慎也
1to1 でプログラミング　授業の DX
　情報科・飯田秀延
1to1 で HR 活動　生徒の主体的な取り組みの変容に焦点を当てて
　公民科・山北俊太朗

3．第64回 全国国立大学附属学校連盟 高等学校部会教育研究大会

日時：令和５年10月13日（金）～14日（土）
主管：大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
開催分科会：国語，数学，教科横断，生活指導，附属のあり方
分科会発表者（本校関係）

＜国語＞
金指紀彦
“教室での学び”を再考する～Ｅ．Ｗ．アイズナーの「教育的鑑識眼」をめぐって～
＜数学＞
吉岡雄一
ICTを利用した「演習」型授業の報告
＜教科横断＞
神田春菜
「総合的な探究の時間」の指導の変遷と課題
齋藤洋輔・松本至巨
地理・地学における教科融合の試み
＜生活指導＞
大谷康治郎
本校での情報モラル指導について
＜附属のあり方＞
坂井英夫
管理職の人事交流　－３年間の成果－

4．令和５年度東京学芸大学附属学校現職教員研修講座開講一覧

（全科）
授業公開　★授業期間中随時
（国語）
高校国語科における演劇の鑑賞指導
令和５年６月27日　新国立劇場
（地歴）
地理における野外実習の実際
令和５年６月１日
東京都心部（旧江戸城外濠跡周辺）
（数学）
深い学びと学習評価の改善を意識した単元計画
令和６年３月29日
（理科）
夏期特別実験講座物理　体験講習会
令和５年７月10・11・12日
夏期特別実験講座化学　体験講習会
令和５年７月10・11・12日
夏期特別実験講座生物　体験講習会
令和５年７月12日
地学科公開研究会　野外観察講座
令和５年10月31日･11月１日　城ヶ島（神奈川県）

（公開教育研究大会）
第22回公開教育研究大会　令和５年11月25日
（SSH）
スーパーサイエンスハイスクール事業報告会
令和５年11月25日

★印は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，実施しなかった。

5．東京学芸大学附属学校研究紀要

第51集（令和６年発行予定）
「算数・数学科における同一題材を用いた小中高の数学的活動の接続（一年次）－教材開発に焦点を当てて－」
佐藤亮太
「現代的課題を含む授業における授業形態による生徒の意識変容についての考察」
桒原智美

6．国際交流来校・派遣

①タイ王国　プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・チェンライ校（PCSHSCR）との交流プログラム
令和６年１月15日（月）～22日（月）
派遣生徒12名
※ STUDENTS’ JOINT RESEARCH PROGRAM を継続的に実施。

② Thailand-Japan Students Science Fair 2023
令和５年12月18日（月）～24日（日）
派遣生徒３名

③立命館高等学校 国際共同研究プロジェクト
フィリピン共和国・Philippine Science High School Carage Region Campus と生物領域における国際共同研究
参加生徒２名

④ 9th Network for Inter-Asia Chemistry Educator
“Is it Possible to Presume Geological Features by Measuring the Radioactive Rays of 222Rn Included in Underground Water in Japan?”
派遣生徒１名　最優秀ポスター発表賞

7．講演・SSH関係事業および 特別授業等

世田谷ワークショップ
令和５年４月１・３日，７月24・25日，８月24・25日，12月27日
参加生徒約20名

無重力実験講座「10 年後の宇宙生活を豊かに」
令和 5 年 4 月 22 日，5 月 27 日，6 月 24 日，7 月 15・22・23・26 日，8 月 1・2・13・19 ～ 23・26 ～ 28 日，9 月 23・30 日，10 月 28 日，11 月 4・5・11・12・18・23・26 日，12 月 2・3・14 ～ 16・23 日，令和 6 年 1 月 20 日，2 月 13 日，3 月 16 日
参加生徒 17 名

国分寺崖線地下水調査（発展 SSH 探究フィールド調査）
大西和子氏（東京学芸大学理科教員高度支援センター）
令和 5 年 4 月 30 日，6 月 1・18 日
参加生徒 1 名（4 月 30 日のみ 2 名）

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」読売新聞東京本社　調査研究本部主催
「江崎博士受賞 50 年『戦後日本 知の発展』」
江崎玲於奈（横浜薬科大学長）ほか
令和 5 年 6 月 4 日（水）

勉強方法トークセッション
委託実習生 3 名
令和 5 年 6 月 16 日（金）
参加生徒 10 名，保護者 1 名

教育学部ガイダンス（I）
大野弘校長・山北俊太朗教諭
令和 5 年 6 月 30 日（金）
参加生徒21名，保護者 3 名

医学部ガイダンス（II）
大野弘校長・メディカルラボ　可児良友氏
令和 5 年 7 月 7 日（金）
参加生徒 112 名，保護者 107 名

特別授業「豚の胎児の解剖」
町井研士氏（獣医師）
令和 5 年 7 月 12 日（水）
参加生徒 16 名（3 年生物履修者）

全国 SSH 生徒研究発表会
令和 5 年 8 月 8 日（火）～ 10 日（木）
「共培養時に細菌が優占的にコロニーを形成する条件の研究」
参加生徒 1 名

アジアントライゼロ G2023　分野 A 実験テーマ採択
「微小重力環境の毛細管現象における液面上昇加速度の変化」
参加生徒 12 名
※令和 6 年 2 月 13 日（火）ISS 軌道上実験実施予定

日本動物学会第 94 回山形大会　高校生ポスター発表
令和 5 年 9 月 9 日（土）
「ヘラクレスオオカブトの奇形個体の人工的作出について探究する～累代飼育の弊害～」
参加生徒 1 名 高校生ポスター賞

SSH 第 15 回マスフェスタ（全国数学生徒研究発表会）
令和 5 年 8 月 26 日（土）大阪府立大手前高等学校
「ダイヤル数と循環部分の種類数の関係」
参加生徒 1 名

日本地質学会第 130 回学術大会・第 21 回日本地質学会ジュニアセッション
令和 5 年 9 月 16 日（土）～ 17 日（日）京都大学
「皿状構造の再現と形成過程の研究」
「堆積岩における風化プロセスの再現」
発表 2 件，参加生徒 5 名　優秀賞・奨励賞

日本シティズンシップ教育フォーラム主催
シティズンシップ教育研究大会 2023
「授業中の教師による雑談の可能性―教師と生徒の支え合いによって生まれるエージェンシー―」
令和 5 年 10 月 1 日（日）
参加生徒 1 名

第 67 回日本学生科学賞　東京都大会
令和 5 年 9 月 29 日（金）論文投稿
「無重力での毛細管現象の過渡解析」優秀賞
「無重力下の水平管内の気液の挙動～自由落下による無重力状態を利用した実験の試み～」努力賞
「炎色反応で炎をカラフルに ～炎色反応を観察できる固形燃料をつくる～」
「炎色反応でどんな色でもできるのか」
投稿 4 件，該当生徒 4 名

日本経済新聞社主催講座
「2040 年のあなたはどのようにして社会に貢献していますか？」
吉野彰氏（旭化成（株）名誉フェロー）
令和 5 年 10 月 12 日（木）
参加生徒 20 名

世界脳週間講演会
鵜飼英樹氏（東京大学ニューロインテリジェンス）
令和 5 年 11 月 6 日（月）
参加生徒　生物履修者 30 名

日本微生物生態学会第 36 回大会
令和 5 年 11 月 29 日（水）
「*Pseudomonas* 属菌の光受容による気泡発生についての探索的研究」
「シマミミズの食用油に対する摂食行動と土壌中細菌の関係」
参加生徒 2 名　優秀賞

教育学部ガイダンス（I）
居城勝彦教諭・加藤将教諭・委託実習生 3 名
令和 5 年 12 月 1 日（金）
参加生徒 9 名，保護者 12 名

JSEC2023（第 21 回高校生・高専生科学技術チャレンジ）
令和 5 年 12 月 9 日（土）～ 10 日（日）
「*Pseudomonas* 属菌コロニーから生じる気泡についての探索的研究」
参加生徒 1 名　優秀賞

サイエンスキャッスル 2023 関東大会
サイエンスキャッスル研究費 THK ものづくり O. 賞
令和 5 年 12 月 2（土）～ 3 日（日）
「学校内落下塔実験のためのドラッグシールド」
参加生徒 12 名　奨励賞

医学部ガイダンス（II）
駿台予備学校市谷校舎　秋庭孝一郎先生・国際医療福祉大学医学部　倉橋清泰先生
令和 5 年 12 月 13 日（水）
参加生徒 42 名，保護者 58 名

令和 5 年度東京都内 SSH 指定校合同発表会
令和 5 年 12 月 17 日（日）
「アリのフェロモンと忌避剤」
口頭発表 1 件，ポスター発表 10 件，参加生徒 19 名

「『総合的な探究の時間』共創イベント」
東京学芸大学高校探究プロジェクト
令和 5 年 12 月 17 日（日）
参加生徒 1 名

2023 年度全国高校生フォーラム
令和 5 年 12 月 17 日（日）
“The Effectiveness of Lesson Plan Using Disney Movies for Developing English Speaking Ability”
参加生徒 1 名

In-Café 70 期トークイベント「障がいと生きる」
令和 5 年 12 月 19 日（火）
参加生徒 12 名

SSH 特別授業「マンガリッシュ・李さん講演会」
令和 6 年 1 月 20 日（土）
李在原氏（東京大学大学院情報学環・学際情報学府）

In-Café 70 期トークイベント「探究活動を語り尽くす」
令和 6 年 1 月 30 日（火）
小林晋平氏（東京学芸大学）

がんに関する講義
令和 6 年 1 月予定
武藤倫弘氏（京都府立医科大学）
参加生徒 1・2 年生対象

第 9 回高校生国際シンポジウム
令和 6 年 2 月 21 日（水）～ 22 日（木）
「微生物燃料電池の発電量を大きくするには」
参加生徒 2 名

東京学芸大学主催 SSH/SGH/WWL 課題研究成果発表会
令和 6 年 2 月 23 日（木）

京都大学ポスターセッション
令和 6 年 3 月 16 日（土）
「なぜギリシャ神話は現代にも浸透しているのか」
参加生徒 1 名

金沢ミライシコウ
令和 6 年 3 月 16 日（土）
参加生徒 1 名

日本物理学会第 20 回 Jr. セッション
令和 6 年 3 月 16 日（土）
「校内微小重力実験におけるクオリティ向上のためのドラッグシールド式落下実験装置の開発」
参加生徒 9 名

関東近県 SSH 指定校合同発表会
令和 6 年 3 月 24 日（日）

免疫学講座
令和 6 年 3 月実施予定
田中ゆり子氏（東邦大学医学部免疫学講座）
参加生徒 1・2 年対象